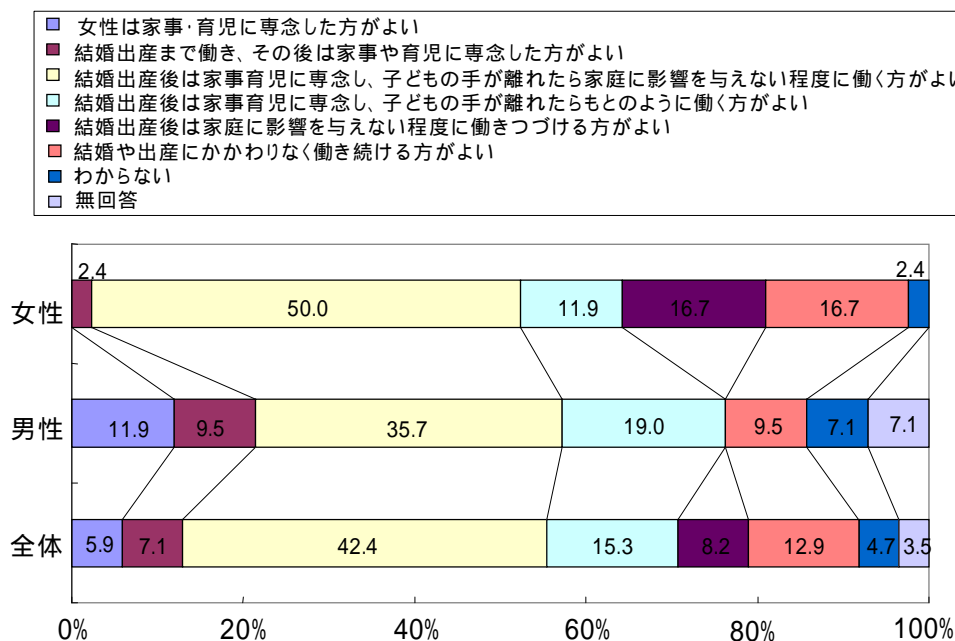


就労について

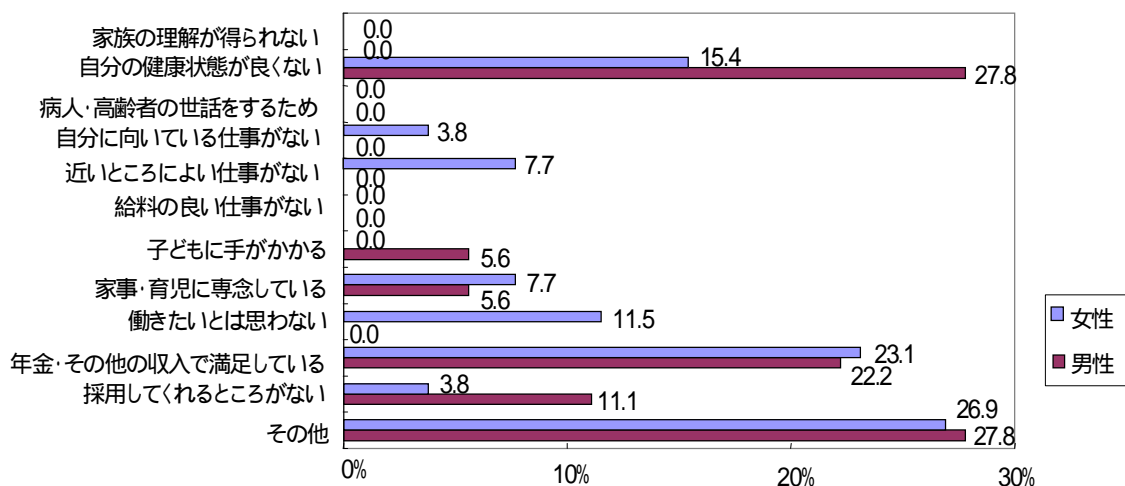
- ・ 女性が社会に出て働くことと家庭との関係について聞いたところ、「就労継続派(家庭に影響を与えない程度に働き続ける及び結婚や出産にかかわらず働き続ける)」について、女性は33.4%、男性は9.5%であり、「家事・育児専念派(家事育児に専念及び結婚出産まで働きその後家事育児に専念)」は、女性は2.4%、男性は21.4%である。
- ・ 一方、「就労中断派(子どもの手が離れたら家庭に影響を与えない程度及びもとのように働く)」は女性 61.9%、男性 54.7%と男女とも半数を越え、「就労継続派」「家事・育児専念派」と比べると男女の差が小さいといえる。
- ・ 現在就労している方へ女性が働きやすい環境にあると思うかとの問いに対し、「大変働きやすい」「ある程度働きやすい」は女性 57.1%、男性 37.5%と大きな差が見られる。しかし、「働きにくい」「大変働きにくい」の割合は女性 28.6%、男性 29.1%であり男女差が見られなかった。
「働きやすい」理由について聞いたところ、女性は「社会通念の変化」23.8%、「昇進・教育訓練などの男女の差別的扱いが無くなってきている」19.0%の順であり、男性は「労働条件が整っている」と「家庭の理解・協力が得やすい」が21.1%、「働く場が多い」が15.8%の順であった。
- ・ 仕事の両立については「できていると思う」の割合が女性26.2%、男性28.6%となり男女差は見られない。「配偶者はできているか」の問いには女性14.3%、男性21.4%が「できている」と回答している。一方、「できていない」と回答したのは女性16.7%であり、男性は回答0件であった。

問2 1 女性が社会に出て働くことと家庭との関係についてどのようにお考えですか。 (N = 85)



問2 2 現在働いてない方にお聞きします。あなたがお仕事についていない理由は何ですか。

(複数回答・N = 44)

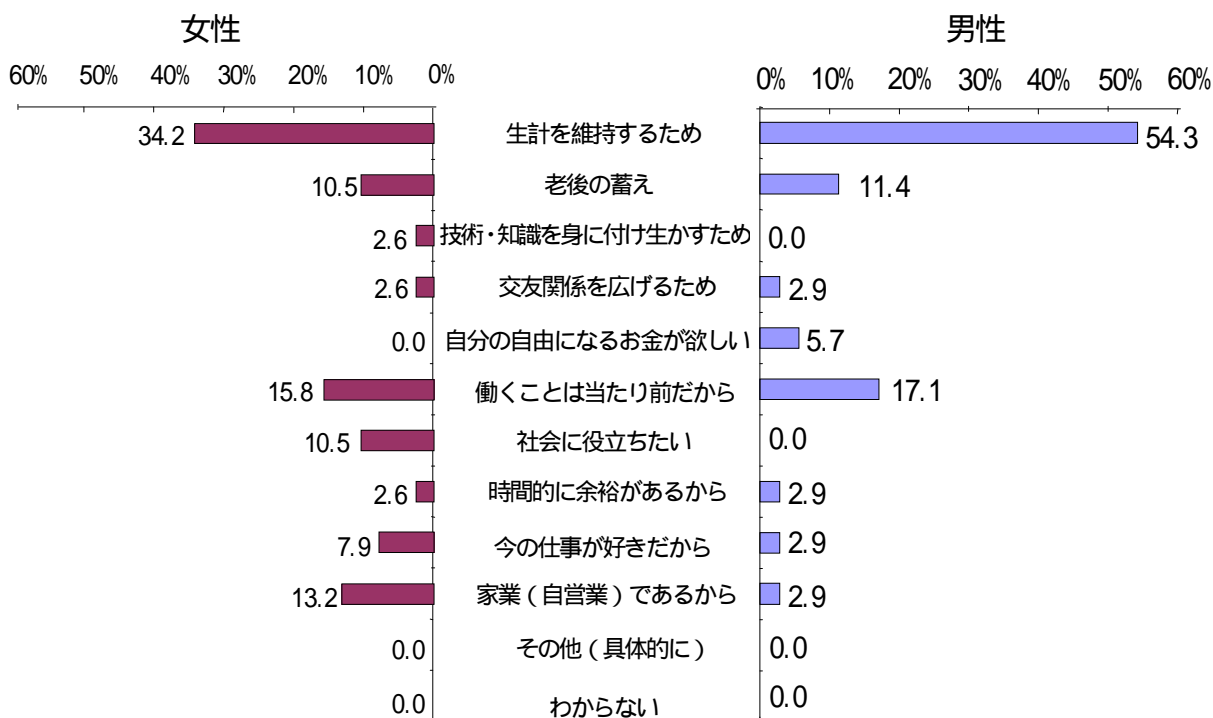


問2 3 「家族の理解が得られない」方にお聞きします。ご家族の中であなたが働くことに一番反対するのはどなたですか。

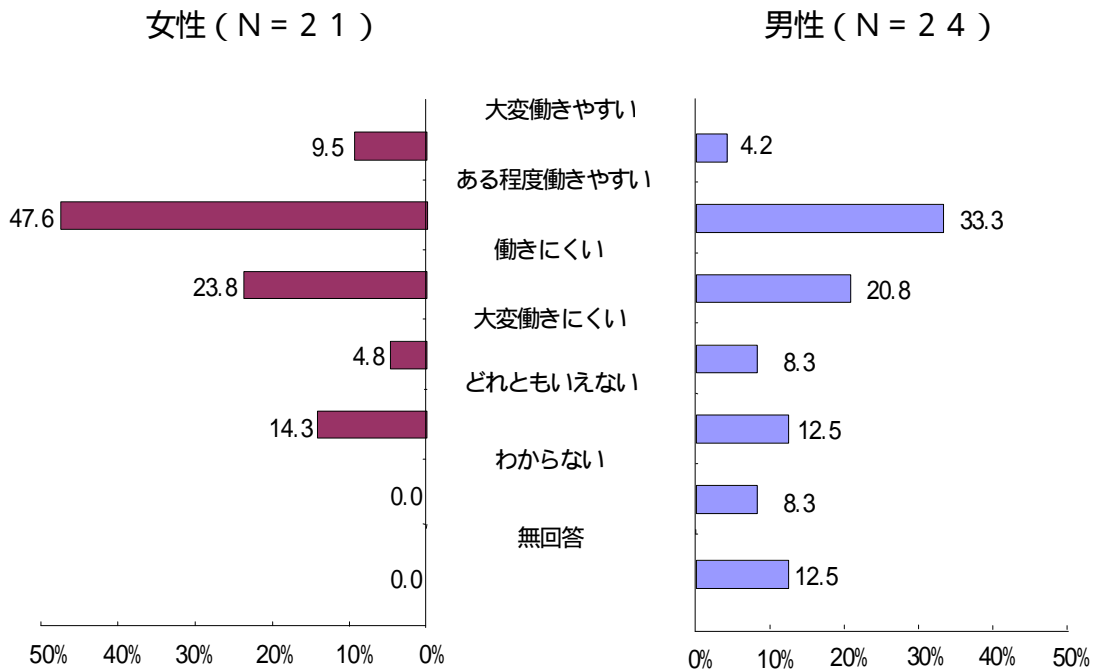
「家族の理解が得られない」の項目の回答は0件であった。

問2 4 現在働いている方にお聞きします。あなたが働いている主な理由は何ですか。

(複数回答)

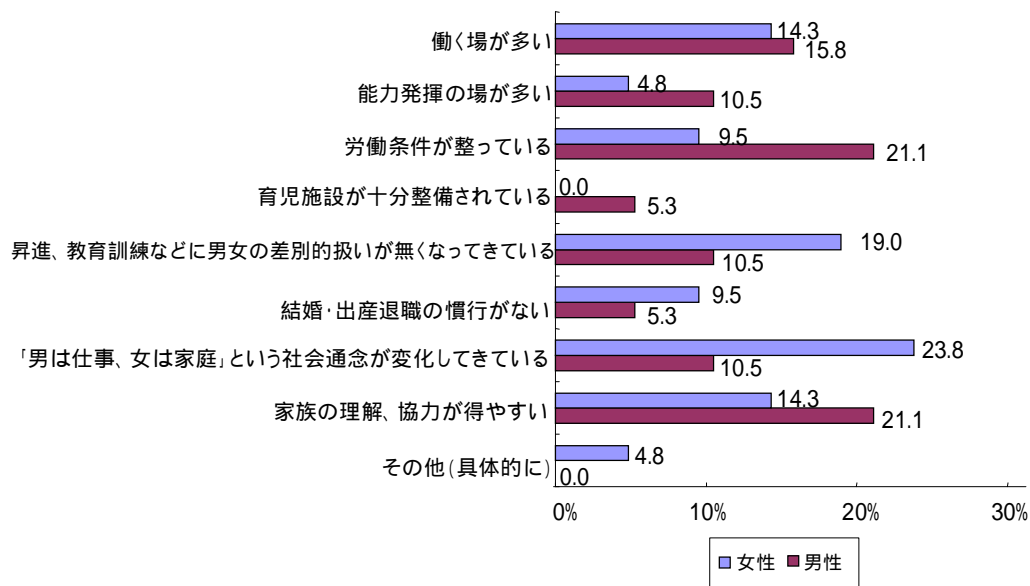


問25 現在働いている方にお聞きします。今の社会は女性が働きやすい状態（環境）にあると思いますか。



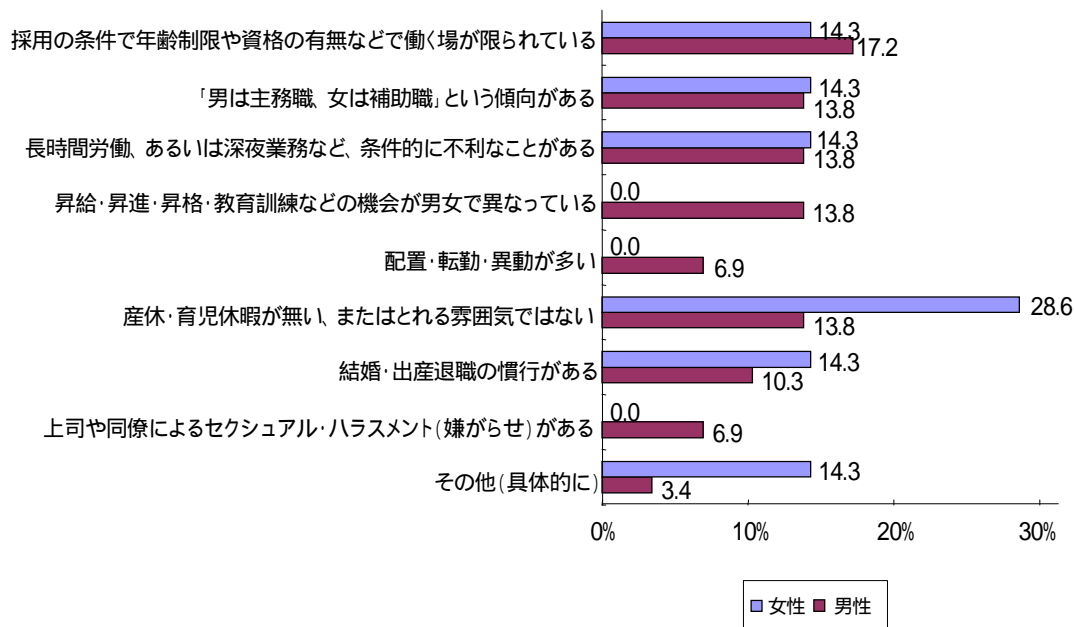
問25 - 1

問25で「大変働きやすい」「ある程度働きやすい」に をつけられた方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(複数回答・N = 21)

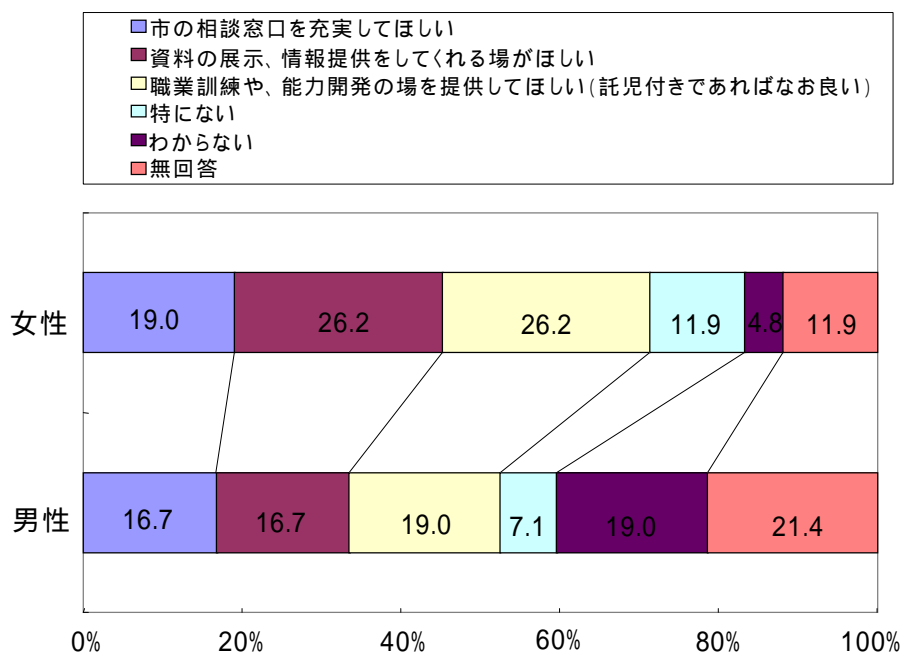


問 2 5 - 2

問 2 5 で「働きにくい」「大変働きにくい」に をつけられた方にお聞きします「働きにくい」のは、どのような原因が考えられますか。(複数回答・N = 1 3)

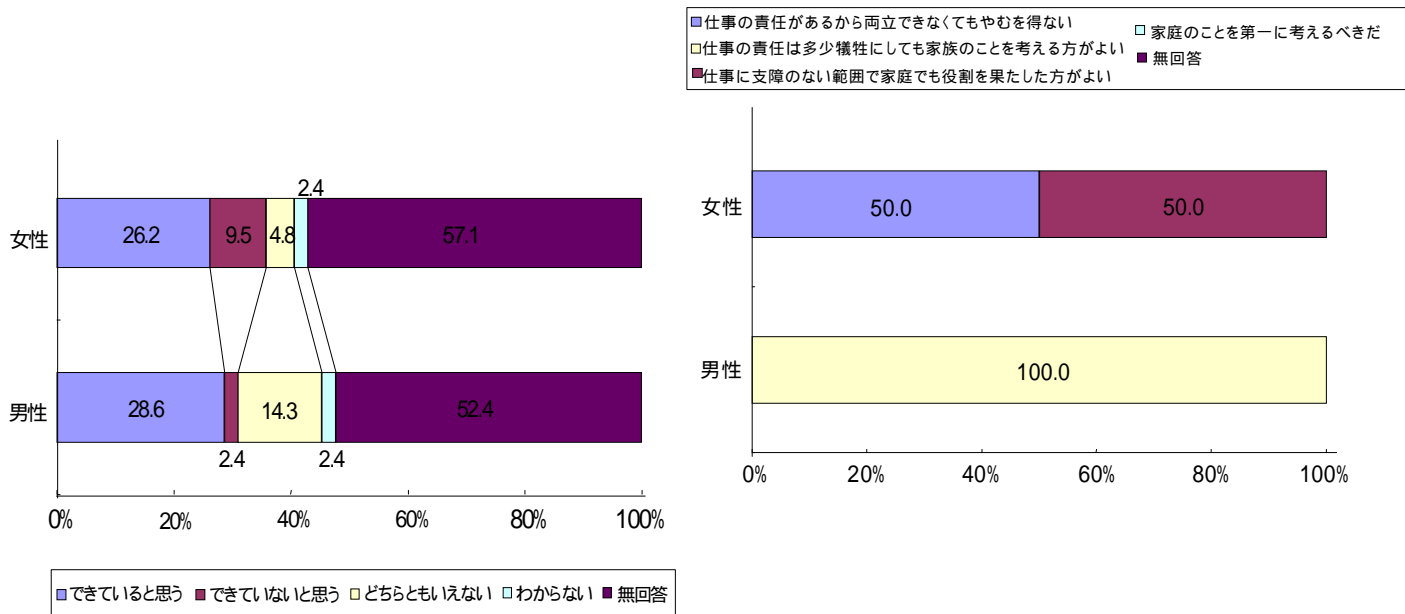


問 2 6 あなたが就職・再就職や転勤を含む労働問題に関することで一番望むことは何ですか。(N = 8 5)



問27 あなたは仕事と家庭が両立できていると思いますか。(N = 85)

問28 問27で「できていないと思う」につけられた方にお聞きします。
それに関するお気持ちとしてあてはまるものは次のどれですか。(N = 5)



問29 あなたの配偶者は仕事と家庭が両立できていると思いますか。(N = 85)

問30 問29で「できていないと思う」につけられた方にお聞きします。
それに関するお気持ちとしてあてはまるものはどれですか。(N = 7)

